

# 和地ひとみレポート No.302

RETURN

東大和市議会平成30年第4回定例会 一般質問 “学校給食センターについて”  
市民が『多額の投資をして良かった』と  
実感できるように



## ■第4回市議会定例会 一般質問

…12月4日～12月19日を会期としたH30年第4回市議会定例会で、私は以下のテーマについて一般質問で取り上げました。

### ■公園について ※このテーマについてはNo.301に掲載

- ①公園の役割、効果に対する市の認識について
- ②市内公園の現状と課題について
- ③「特色ある公園整備基本方針」と「公園施設長寿命化計画」について  
⇒この方針と計画の関連性について  
⇒公園の整備の進捗について
- ④今後の取り組みについて

### ■学校給食センターについて

- ①調理業務を委託に変更したが、導入前に期待していたことと比較した場合の現状について
- ②学校給食センター稼働で改善ならびに実現した点に対する市民の評価について
- ③災害時の炊き出し機能の訓練などの状況について
- ④給食費、食育、その他の点において、都内全体、ならびに近隣市の中での当市の学校給食の位置づけについての市の認識について

### ■学校教育について

- ①市民意識調査の結果の背景についての分析について
- ②現状について  
⇒児童・生徒一人当たりの教育費について  
⇒都内ならびに近隣他市の取組みと比較し、東大和市が先行している点と遅れている点について  
⇒学校教育の充実による効果に対する市の認識について  
⇒現在の課題や取組み、今後の方向性について

### ■給食センター新築による効果は

…学校給食センター建設については、その事業費の大きさ、ならびに、調理業務を民間に委託するという新たな取組みの導入により、これまでも様々な角度から私を含め、多くの議員が一般質問で取り上げてきました。市の大きな事業については、GOサインが出るまでは市も一生懸命説明をするのですが、実行後はその効果などについて説明がないことが往々にあり、新たな学校給食センターについても、建設前や稼働前は、様々な場面であった市からの説明も、稼働後にはその効果や様子についての市からの説明をあまり聞きません。

…また、今までは東大和市の学校給食がいまひとつ充実した内容でなかったことについては『(旧)学校給食

センターの設備の老朽化』

などが原因だと市は答弁していました。新たな最新設備の整った学校給食センターが稼働した今、東大和市は近隣他市と比較しても充実した施設を整えている状況です。このような状況の中、東大和市の学校給食が、近隣他市と比較した場合、どのような位置づけになっているのか(すなわち美味しいと評判なのか。食育が充実していると評判なのか)といった視点も含め、今回は、学校給食センターの新設の効果と学校給食の現状について総合的に確認しました。(※今までは旧学校給食センターと対比して『新学校給食センター』としていましたが、現状は『新』を削除して呼ばれているため、このレポートでも『学校給食センター』と記載しています。)

### ■業務委託の効果と市民の評価は

…新たな学校給食センターで導入したことのひとつとして、調理業務を外部に委託した点が挙げられます。また、センター内は調理している様子を見学できるようにもなっており、おおきな会議室も備えられているため、建設前の説明では、保護者などの市民の見学会ならびに試食会も開催することが示されていました。これらの現状については「調理配膳業務委託は、民間事業者の実績やノウハウが生かされ、委託前と比較すると給食調理の向上及び効率性が図られたことや、衛生面のさらなる徹底が図られたこと等の効果が挙げられる。また、栄養士が調理員への直接の指導を行わなくなったことに伴い、食育指導など、より多くの時間を他の業務に充てることが可能となった。これらは、導入前より期待していた点であり、それらに対する成果があったものと捉えている。現在、学校給食センターでは、市民や保護者を対象とした見学試食会を実施しており、今年度も約350名の皆様にお越しいただいた。その際のアンケートの中で『新しいシステムが導入され、衛生面の徹底、動線ルールともにしっかり管理されていた』『食器も個別になってとても食べやすくなった』『手づくりも多くおいしかった』といった意見が多く寄せられている。衛生面の改善、調理方法の工夫などに一定の評価をいただいていると認識している。」との答弁がありました。

### ■食育指導は良くなったのか

…市の答弁では、調理業務を委託したことによるいくつかの効果が挙げられました。その中の、栄養士の食育指導に以前より時間を充てることのできるようになったという点については、東京都の教育委員会が毎年公表している『東京都における学校給食の実態』という資料から確認することができます。よって、その資料に基づき、東大和市の学校給食の教育的活用の実態について確認しました。(裏面に続く)

…この東京都教育委員会の資料では活動の場＝特別活動として「学級活動」「給食時間」「学校行事」と分類され、指導内容については「地場産物」「日本の伝統文化」「世界の食文化」と分類されています。これらの分類で見たときの東大和市の実績について確認したところ「平成 29 年度の実績は、地場産物が 2 校、日本の伝統文化及び世界の食文化が 0 校となっている。平成 30 年度については、現時点で地場産物が 4 校、日本の伝統文化が 1 校となっている。また、東大和市では、この 3 区分以外に、栄養士が学校を訪問して、三色食品群、よく噛むこと、目の愛護デー、カルシウム、給食ができるまでなどの内容で食育指導を実施しており、平成 30 年度は、学校数として 10 校、クラス数では既に 45 クラス以上実施している。」との答弁でした。市としては、以前より食育指導の回数が多くなったという認識のようですが、この答弁からは、全体的にまだ十分とはいえる状況ではなく、食育に力を入れている自治体とは大きな乖離がある状況です。

…学校給食法には学校給食の目標として以下の 7 項目が示されています。

- 1:適切な栄養の摂取による健康の保持増進を図ること
- 2:日常生活における食事について正しい理解を深め、健全な食生活を営むことができる判断力を培い、及び望ましい食習慣を養うこと
- 3:学校生活を豊かにし、明るい社交性及び協同の精神を養うこと
- 4:食生活が自然の恩恵の上に成り立つものであることについての理解を深め、生命及び自然を尊重する精神並びに環境の保全に寄与する態度を養うこと
- 5:食生活が食にかかわる人々の様々な活動に支えられていることについての理解を深め、勤労を重んずる態度を養うこと
- 6:我が国や各地域の優れた伝統的な食文化についての理解を深めること
- 7:食料の生産、流通及び消費について正しい理解に導くこと

…目標 1 は、栄養士が必要な栄養素やカロリーを考えたメニューを作成しているので担保されますが、その他の目標を達成するために、自治体によっては「異なる学年が一緒に給食を取る交流給食」や「行事給食」などの特色ある学校給食を実施しているところがあります。東大和市の学校給食の現状をこの 7 つの目標に照らし合わせた場合の現状については「いずれの項目においても食育事業の回数増に伴い、向上している。例えば食生活が自然の恩恵の上に成り立つものであることや食に関わる人々の様々な活動に支えられていること等については、社会科見学、食育事業で指導している。一方、学校生活を豊かにし、明るい社交性及び協同の精神を養うことでは、見た目をよくすること、子供が好きな献立をできるだけ取り入れる等に取り組んでいるが、さらに楽しい給食時間とするためには各学校の協力が必要で課題があると考えている。」との答弁でした。

## ■美味しさは

…最新の設備を整えた学校給食センターは、衛生面の向上、アレルギー食対応だけではなく、今まで提供できな

かったメニューも提供できるようになりました。

…“美味しさ”は給食の評価の一つの指標になりますが、これは個人の味覚により左右されるため数値化するなどして評価はできません。市は、学校給食は美味しいと言われているという認識ですが、美味しくないので残す児童が多いという話も耳にしています。

…教員は都内の様々な自治体の給食を食しているのので、教員を対象に他の自治体と比較しての美味しさ、メニューの充実といった点等を調査してはどうかと投げかけたところ「おおむね好評であると捉えているが他市との比較評価についても今後検討したい。」とのことでした。

…給食センター建設前にこの事業の費用対効果などを確認した際は「学校給食甲子園で優勝することも目標にし、市民がこの事業を良かったと感じてもらえるようにしたい」といった前向きな答弁がありました。

…子育て施策についても日経 BP 社という外部の評価により、東大和市の施策の充実を市民が知り、市の取り組みへの理解、市への愛着が向上するなどといった副次的な効果もあったと思います。多額の費用をかけた給食センター建設についても、外部からの評価を得ることで市民が「良かった」と感じられると思います。

…ただ一方で東大和市の給食費についての教育長答弁では、小学校低学年、中学年においては多摩 26 市 25 番目、中学校は 22 番目という低い水準で、一番高い自治体とは 1 食当たり 50 円程度の差があるという答弁でした。26 市の平均と比較しても 1 食当たり約 30 円安い状況です。給食費は食材費に充てるものであるので、この安い給食費による弊害はないのかという問いに対しては「本来使うべき材料を、他の材料で代用するなど工夫している。しかし、例えば 1 食あたり 10 円プラスすると、生の果物の提供回数を増やせる、ピーマンなどの価格が高いものを使用して彩りをよくできる、冷凍ホールコーンなども国産が使用できる、パンも標準パン等以外にブドウパン、ソフトフランスなどを取り入れることができる。」との答弁でした。

…工夫をして給食費を抑制することも大切ですが、1 食あたり 250 円前後（学年により違う）という食材費の中、平均より 30 円も低いのでは限界があると思います。実際、東大和市は食材費についても綱渡り状況で、野菜の価格高騰などの際は対応に難儀している状況とのこと。今後は、より良い給食の実現のためにも給食費の見直しも検討する必要があると思います。

## ■投資のリターンを最大限に

…様々な答弁から感じたことは、多額の投資をした学校給食センターの効果は、作業効率と設備充実による衛生管理向上、アレルギー食対応がメインだということです。災害用の炊き出し対応設備も設置していますが、災害時の対応マニュアルも未だなく訓練もしていないとのこと。多額の投資から市民が得られたと実感できることは、現状、あまりないように感じます。投資に対してどれだけのリターンを市民が享受できるのか。金額では表せなくても、市民が実感できることはあるはず。市にはこのリターンの最大化を目指して様々な取り組んでもらいたいと提言しました。

市政、議会について「自然体」「ざっくばらん」にレポート。駅前配布するレポートは毎回、最新号です。

「私たちの身近にある市政、市議会。伝えることがスタートだと思います。」



東大和市 市議会議員  
和地 ひとみ

■ 連絡先 和地 ひとみ事務所 HP : <http://www.wachi1103.jp>  
✉ [wachi\\_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp](mailto:wachi_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp) 【電話・FAX】 042-516-8546  
〒207-0005 東大和市高木 3-274-2-102